

平成22年度 佐賀県ベンチャー交流ネットワーク第2回例会

【概要】

7月26日(月)14時半から、唐津市の唐津シーサイドホテルに於いて、平成22年度佐賀県ベンチャー交流ネットワーク第2回例会を開催しました。今回、初めて唐津で開催し、唐津商工会議所関係より23人、正会員35人、準会員9人、オブザーバー12人に公的機関からの参加者を含め約100人が参加されました。

今回の例会では、農商工連携セミナー「新商品開発とベンチャー精神について」と題し、(株)萬坊 代表取締役 太田 善久氏に講演いただきました。

ビジネスプラン発表会では、5社の方に製品のプレゼンテーションをしていただき、その後質問や活発な意見交換がなされました。

例会後の交流会では、名刺交換をし、唐津の企業の方が、ベンチャー交流ネットワーク会員との親交を深められました。

【農商工連携セミナー】

「新商品開発とベンチャー精神について」

講師：太田 善久 氏

(株式会社 萬坊 代表取締役社長)

新商品開発を行うには、発見する能力「セレンディピティ」を高めること、また、今ある製品の強みを生かし、時代に乗ってお客様のニーズに応えることが必要であることをご教授いただきました。

太田氏は無毒ふぐによる「ふぐ肝特区」の成立に取り組み、呼子の食文化を全国に広めたいという強い思いが伝わりました。



(講演中の太田氏)

【ビジネスプラン発表会】



5つのテーブルに分かれて、自社のビジネスプランや新商品について発表され、活発な意見交換がなされました。発表企業は以下のとおりです。

【佐賀県ベンチャー交流ネットワーク】

・(株)オフィス・タカハシ

「熊本電気工業(株)開発の集魚灯の販売について」

・(株)K M Tec 「安心、安全の省エネ照明を目指して」

・(株)ブルーム 「唐津発・新ビジネスモデルへの挑戦」

【唐津企業】

・(株)ワイビーエム 「環境適応型排水処理装置(FJプラント)」

【県外企業】

・(株)ナック 「宅配ボトルウォーターの代理店募集について」

【交流会】

例会後の交流会は、九州経済産業局 技術振興課長 坂本正美氏による乾杯の挨拶で始まりました。

会員同士で情報交換をしたり、地元企業の方と名刺交換したり、和やかな雰囲気の中で交流が行われました。

中締めは、ベンチャー交流ネットワーク会員であり、唐津の企業でもある、(株)ブルーム 代表取締役 山崎 信二氏により行われ、盛況のうちに交流会はお開きとなりました。

